

北斗通信

エバーオンワード(限りなき前進)

藤岡市立北中学校校長室通信

平成22年4月21日(水)

NO. 5(通算67)



早いもので、入学式からもう2週間が経ってしまいました。入学してから、お子さんたちの家での様子はいかがでしょうか。疲れが出ているのではないのでしょうか。

なるべく時間を見つけて、1年生の教室を訪ねています。元気に学習をしている姿を見てうれしく思います。

よく教育には、家庭教育、学校教育、社会教育の3つがあり、就学前が家庭教育、就学中が学校教育、学校を卒業すると社会教育と段階的にこの3つが一直線に並んでいるかのように理解されているむきがあります。明らかにこの考え方は間違っています。この3つの教育は、常に同時に存在していることを強調したいと思います。



「先生、うちの子はとにかくだらしなくて。部屋の整頓なんかまるでダメ。歯磨きもしないんです。何とか言っていただけないでしょうか。」

「よく分かりました。あとで話しておきましょう。それはそうと、お宅のお子さんは数学が苦手ですね。何か方法をお父さんと考えてください。」

「先生、気をつかっていただいてありがとうございます。さっそく主人と相談してみます。」

この会話、真に奇妙な会話です。自分の子どものしつけを先生に依頼して、担任している子どもの学力向上を保護者に依頼するとは、まさに「逆立ち現象」です。学校と保護者との協力とは、それぞれが自己の本命とする役割を果たすことを通じての協力でなければならないのです。すなわち、保護者の皆さんには、我が子のしつけをしっかりしていただき、我々教師は、そのしつけされた子どもの学力向上を図るということを基本にして協力が成り立つのです。

ぜひ、学校と家庭とがそれぞれの役割に向かって努力し、責任を持って子どもたちの健全な成長を見守っていきましょう。

残念です。とても無力感を感じます。私たち教師はいつも交通安全について生徒たちに話しをしています。大切な大切な命を守るためです。この北斗通信でも何回も交通安全について書いてきました。それなのに・・・。



電話は、

「本日(4月19日)14時頃、自転車で下校中の生徒が危ない横断をしたので注意してもらいたいと思い電話をしました。場所はアウロスの前辺りです。自転車の生徒は男子4人で、横断歩道など何もなかったところを横断しようとしていました。自分は、自転車の4人に気づきスピードをやや緩めました。自転車の生徒の4人のうち3人は車に気づき横断せずに止まりましたが、1人はスピードを緩めることなく笑いながら横断していきました。」



という内容でした。

今回は何事もなくすみましたが、昨年度も自転車による交通事故は、多く起こっています。そのほとんどが出会い頭や無理な横断が原因でした。学校でも指導を強めていきたいと思いますが、ぜひご家庭でも子どもたちに注意を喚起していただきたいと思います。あらためて、電話をしてくださった方にお礼申し上げます。

学校からの通信をぜひお読みください

北中学校からは、保護者の皆様に色々な形で、学校の様子

の紹介やお願い、連絡をしております。メールやホームページ、学校・学年・学級通信、保健等のたよりです。残念ながら、生徒が保護者の皆様に渡さないことがあります。ぜひ、「学校からのたよりは？」と声をかけていただき、読んでいただきたいと思います。学年通信の名称も、1年生は「YELL」、2年生は「大夢磨心」、3年生は「STEP BY STEP」と決まりました。ホームページも日々更新されています。